

## 令和3年度 修了式

## どんな先輩をめざしますか？



3/16(水)、「第75回卒業式」を挙行することができました。コロナのため1年生の参加は叶いませんでしたが、この2年間耐えてきた卒業生139名はさすがでした。堂々とした入場、返事、姿勢、礼法など、3年間の学びの成果をしっかりと表現してくれました。

さあ、次は1・2年生の皆さんの出番です。  
まず、1年生。1年前に期待と不安を胸に富中の正門を入った時のことを覚えていますか？入学式では、校門にある牧水の歌碑を詠み「夢に向かって充実した学校生活を送ること」、そして、宮澤章二の「行為の意味」を取り上げ、「相手の気持ちを考えて、心配りの姿が見えるようになって欲しい」とお願いしました。まもなく先輩と呼ばれるようになります。新1年生の頼れる良き先輩としての自覚や新年度を迎える心の準備をしっかりとしてください。

そして2年生には、1学期の始業式で、コロナ禍の今だからこそ、「美しい心」が必要だ。そのためには、

「誰にでもできること(凡事徹底)を、誰にも真似できないくらいやってみよう」、また、やらされるのではなく、「自ら考えて、自分の判断で『主体的』に行動できるようにしよう」とお願いしました。

2年生はそれにしっかり応え、部活動や生徒会活動において伝統を継承しつつも、先輩を超える活動も見せてくれました。特に生徒会は、生徒会活動を「Tems」で実施したり、あいさつ運動を小中合同に発展させるなど、工夫し、試行錯誤する姿を見ながら、皆さんの成長を確信し、頼もしく思っていました。

4月からは、いよいよ最上級生として富中の看板を背負う学年がスタートします。また、1年後の進路決定に向けて、受験生として心の準備をしなければなりません。

今日を節目に、来る4月7日には新たなスタートラインに立って、「夢に向かって挑戦する」「行動する」姿を見せてくれることを期待しています。

「ニコろ」は  
だれにも見えないけれど  
「ニコろづかい」は見える  
「思い」は 見えないけれど  
「思いやり」は  
だれにでも見える  
宮澤章二「行為の意味」より



## 卒業式 「けふもまた ころの鉦を 打ち鳴らし 打ち鳴らしつつ あくがれて行く」

### 「学校長式辞」の一部を紹介します。

まさか、コロナの影響がここまで長引くとは思ってもみませんでした。義務教育の最後の一年を、こんな目にあってしまい、「何で私の時に限って」と恨んだ人もいることでしょう。

さて、本日授与しました卒業証書は、皆さんが中学校の3年間に、コロナのことも含め、様々な壁を乗り越え、たくましく成長した証です。義務教育の修了に当たり、改めてご家族や地域の方々、先生、そして、励まし合った仲間へ感謝して欲しいと思います。

今、皆さんの頭の中では、三年間のたくさんの思い出が駆け巡っていることと思います。目を閉じると、普段の何気ない笑顔をはじめ、中体連で負けて顧問とともに流した涙、団長を中心に何もかも忘れて弾けた体育大会、入試前の実力テストに向かう真剣な表情などが強く印象に残っており、いつも「元気」をもらっていました。

卒業生の皆さんの中には、義務教育のほぼ2年間、コロナのあおりをまともに受けてしまい、「何で私の時に限って」と恨んでいる人もいます。それ以上に、コロナ禍で日常を失ったことで、人と関わりの大切さや勉強やスポーツができるありがたさ、前向

きに考えることの必要性など、改めて気づかされたことも多くあったことと思います。

明日から、いよいよ自分で決めた路を進むこととなります。ただ、「様々な困難」にも直面することもあるでしょう。そんな時、何もかも「一人で」と思うのではなく、時には助けを求めることも必要です。そんな時助けてくれるのが、苦楽を共にした「仲間」であり、愛情あふれる「家族」であり、いつでも温かく迎えてくれる「故郷」なのです。何年か先に仲間と再会し、コロナで辛く、寂しい思いをしたこの時期を振り返った時、一つの思い出として、笑顔で語り合える日が来ることを願っています。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。たくましく健やかに成長されたお子様の姿に感慨もひとしおのことと存じます。今後とも、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

以上、卒業生の輝かしい未来への門出に、私の大好きな牧水の歌を添え、式辞といたします。「けふもまた ころの鉦を 打ち鳴らし 打ち鳴らしつつ あくがれて行く」

令和4年3月16日 校長 向江 修一



◆富島中ホームページ◆

<http://cms.miyazaki-c.ed.jp/4601/htdocs/>  
から、学校だより等、学校の情報をご覧いただけます。

富島中

検索

## 凡事徹底 ほんじ

当たり前のことが当たり前  
にできるように、学校一丸と  
なって取り組んでいます。

今年度もあと6日です。コロナ禍で窮屈な1年間でしたが、本校内で感染が広がることなく、皆さんの行動のお陰だと感謝しています。一日も早くマスクなしで、気持ちよく「あいさつ」を交わせる日が来ることを願っています。(向江)

